



山の神めぐり手帳 46 神社

K U M A S T A M P

INTRODUCTION

いまからずっとずっと遠い日、

人々の暮らしのまんなかに、神さまはいた。

集落に、山の高みに、人々の手で神々を祀る社をつくった。

久万郷にはいまも、鎮守の社が多く残る。

連なる悠久のときのなかで、神社は地域を見守り、

地域もまた神社を守ってきた。

久万にいまなお息づく、神さまのいるところ。

樹々、沢、鳥たちが奏でる心地よい音と

神聖な空気に包まれる境内に佇み、流れていく日常にひと呼吸。

この一冊と一緒にでかけよう。

CONTENTS

05 久万高原町 神社MAP

47 阿吽の狛犬

09	1.三島神社	27	24.大宮八幡神社(東川)
11	2.高殿神社	28	25.熊野神社
12	3.河内神社	28	26.河内八社神社
13	4.久万伊勢大神宮	29	27.八社神社(黒藤川)
13	5.金刀比羅神社(西明神)	31	28.尾崎神社
14	6.天満神社	31	29.宮柱神社
14	7.総河内神社	32	30.松原八社神社
15	8.住吉神社	32	31.音無神社
17	9.五社神社(直瀬)	33	32.赤藏神社
17	10.八幡神社(直瀬)	34	33.五社八幡神社
18	11.八幡神社(大元八幡神社)	35	34.五社神社(西谷)
19	12.葛城神社	36	35.川崎神社
20	13.三訪神社	37	36.早虎神社
20	14.十二社神社	38	37.大宮八幡神社
21	15.河上神社	39	38.総高地神社
21	16.金刀比羅神社(二名)	39	39.河内神社(柳井川)
22	17.御調神社	40	40.八幡神社(波章)
23	18.河崎神社	41	41.正八幡神社
24	19.龍池神社	41	42.相峰神社
24	20.八幡神社(有枝)	42	43.八幡神社(本組)
25	21.八社神社(七鳥)	43	44.八社神社(笠方)
26	22.八柱神社	44	45.八幡神社(前組)
27	23.御三戸神社	45	46.三社神社



高原地帯が育む
久万郷のゆたかな自然。
溪流で、原生林で
エネルギーをもらおう。
神社といっしょに
めぐれば
身も心もフルチャージ。

この手帳の使い方

1 久万高原町内の46神社をお参りし、スタンプを集めましょう。
押印した日付をご記入ください。

2 すべて押印できたら、
この手帳を「1.三島神社」の社務所へお持ちください。
事前に電話連絡をお願いいたします。
三島神社社務所 ☎090-5717-5399
愛媛県神社庁久万支部 ☎090-5915-0990

3 46神社をめぐる記念として、
久万の森から贈り物を差し上げます。
【久万の森から贈り物】
久万高原町のスギのブックスタンドとヒノキのブックカバー、
ヒノキを漉き込んだ「久万ヒノキのことだま箋」。
いずれも久万高原町の神社で祈祷したものです。※限定200セット

4 この手帳を使い終わっても、久万高原町の神社へのお参りをお待ちしています。
1冊につき1巡のみ。2巡目以降は新しい冊子をご利用ください。

久万高原町の神社をめぐる際のご注意

- 神社のなかには山道を徒歩で登るところもあります。運動のしやすい服装でお越しください。またコンビニや自動販売機がない場所もあります。水分などは事前のご準備を忘れずに。
- 各神社の紹介ページに掲載しているQRコードはGoogleマップとリンクしています。読み取って、ナビにご利用ください。また、車のナビに表示されない場合があります。その場合は地域名まで入れ、看板のぼり等に従ってください。
- 駐車場がない神社もあります。近隣のご迷惑にならないよう、付近に駐車してください。看板のぼり等の案内に従ってください。
- 冬場の交通については、上記の愛媛県神社庁久万支部までお問い合わせください。



愛媛県神社庁 | 検索





神社巡りの心得



参拝方法

きちんと参拝したいひとのために
ここでは、一般的な作法とマナーをお伝えします。
ただし、本来は参拝の作法に厳格な決まりはありません。
大切なのは、神さまを想う気持ちです。

- 四 参 式 参
- 一札して鳥居をくぐる
神社の鳥居には、一般社会と神域をくぐる境界のような意味があるといわれています。
恩師の家を訪ねる感覚で、一札をしてからくるのが丁寧とされています。
境内を出るときも社殿に向き直って「礼する」といましょう。
- 手水舎の水で心身を清める
右手で柄杓(ひしゃく)を持ち、水を汲んで左手にかけ、左手を清めます。
次に柄杓を持ち替えて、同様に右手を。ふたたび右手にもち、左の手のひらに水を受けて口をすすぎます。
さらにもう一度、水を左手に流します。
- 参道の端を歩く
神社では、参道を神さまの通る道ととらえることがあります。
参道の中央を避けて進むのは神さまに対する敬意の表れになります。
中央を横切るときは、軽く頭を下げながら通るなどして敬意を表します。
- ※参拝前、礼をする
基本的には「二礼二拍手」の作法で拝礼します。
深いお辞儀を2回繰り返し(二礼)、次に両手を胸の高さにあわせ、右手を少し手前に引き、2回拍手をします(二拍手)。両手をあわせてお祈りをしたのち、両手をおろし最後に深いお辞儀をします。

※社殿のうち、拝礼を行う場所のこと。拝殿で、願いごとを祈る「祈願」や、神職に穢れを祓ってもらい「お祓い」などが行われる。対して「本殿」とはご神体が座する場所。





樹齢500年以上の杉がそびえ立ち、悠久のときと神聖な雰囲気が漂う。拝殿は入母屋造で、桃山時代の様式を保存していることから、県指定の有形文化財に指定されており、殿内にある花草の欄間が華やぎを醸している。

number



三島神社

みしまじんじや

773(宝亀4)年、大三島にある大山祇神社の分霊を勧請したと伝えられる三島神社。久万・小田の総氏神として信仰をあつめた。広い境内、威風と格式を備えた社殿が社格の高さをうかがわせる。故事に基づいた勇壮な「久万山五神太鼓」は現在も奉納されている。

主祭神

大山積神、雷神、高麗神

神徳

山の神、狩猟の神、
林業木材商製材業の神



久万高原町菅生 2-190

押印日 令和 年 月 日



河内神社

number
3

河内神社 こうちじんじや

松山方面から旧土佐街道を進むと、右手に、田畑に囲まれた場所にぼっこりと森が現れる。その中心に一際目立つ赤屋根の社がある。そのむかし、「河内明神」を祀ったが、洪水で社殿が流出。荒れ狂う濁流の中に神霊が現れたため、社殿を建てて安置したと伝わる。創祀の時期は不詳。

主祭神

建速須佐之男命

二神徳

病氣平癒、疫病祓除、
邪気祓の神



久万高原町東明神 1216

押印日 令和 年 月 日

凝った木の彫刻が拝殿に施されている。境内には書家「三輪田米山」の書による石碑もある。農作物で潤った地域であることが、全体の雅さに現れ、今でも地域のひとたちが当番制で清掃活動をしている。



国道33号沿いにあり、創立は1181(養和元)年。拝殿は棟梁・八代嶋油村吉五郎が1863(文久3)年に建築したという。拝殿に蛇の目の家紋があることから、大洲藩とゆかりがあるとされる。

number
2

高殿神社 こうどのじんじや

久万エリアでは最古の神社といわれている。巨大なケヤキがそびえる境内には、長州大工が手がけた拝殿と本殿が座する。とくに本殿の鳳凰や唐獅子など、木の彫刻はエリア随一の呼び声が高い。日向の国の高千穂にある高殿御社を大宝年間にこの地へ奉祀したと伝わる。

主祭神

高御産巢日神、大山積命、
明神右京靈

二神徳

生産の神、安産祈願の神、
良縁の神



久万高原町西明神 267

押印日 令和 年 月 日

高殿神社



number

6 天満神社

てんまんじんじや

森の木々に守られるように佇む。入野天満ヶ森城主の梅木但馬守が、祖先の霊徳を敬慕して城地に社殿を建て奉斎したという。その後、天正年間(1573~92年)に落城後、村民が城山の麓に社殿を建立して守護神とした。明治初年、村社に列格となる。

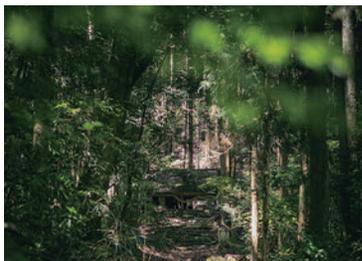
主祭神
菅原道真命

二神徳
学業成就の神



久万高原町入野 477

押印日 令和 年 月 日



number

4 久万伊勢大神宮

くまいせだいじんぐう

町の中心部の商店街沿いにある神宮。中世のころ、伊勢神宮を崇拝する機運が高まり、参拝、宿泊などの世話をする「御師(おし)」が各地に滞在するように。その御師の滞在所だった。屋根にある「太一(たいいつ)」は、天照大神を示している。

主祭神
天照皇大神、豊受大神

二神徳
国家安寧の神



久万高原町久万 503

押印日 令和 年 月 日



number

7 総河内神社

そうこうちじんじや

天然石が敷かれた階段の両脇には針葉樹が生い茂り、階段を登ると、茅葺きをトタンで覆った大屋根の拝殿が見える。1872(明治5)年、この地にあった定徳寺の守護神である金比羅大権現を廃し、その社殿に村内すべての神社をあわせ祀ったと伝わる。

主祭神
天忍穂耳命

二神徳
五穀豊穡の神



久万高原町上畑野川甲 1684

押印日 令和 年 月 日



number

5 金刀比羅神社(西明神)

ことひらじんじや

香川にある「金刀比羅宮」を総本宮とする、全国各地にある金刀比羅神社のひとつ。1740(元文5)年、いまの地に山を開き、翌年社殿を建立したと伝わる。天然石の長い階段の先にある、赤い屋根の拝殿が愛らしい。奉納相撲の土俵があり、いまも祭礼が行われている。

主祭神
大物主命

二神徳
五穀豊穡の神、病氣平癒の神



久万高原町西明神 398

押印日 令和 年 月 日





境内は県指定天然記念物のカヤの木をはじめ、ヒノキ、杉などの大木で覆われている。多くの絵馬が飾られている拝殿は、木鼻の彫り物をはじめ、やや控えめな意匠が味わいを醸している。

number



住吉神社

すみやしじんじや

県道153号沿いに参道の入り口がある。大阪の神宮が奉じていた住吉神社の分霊を崇め祀ったことにはじまり、1547(天文16)年に現在の地に再建されたという。周防大島の棟梁・丸山熊次郎繁則が手がけた本殿は、1855(安政2)年に建築され、神明造、入母屋造の屋根など美しさが際立つ。

主祭神

表筒男命、中筒男命、
底筒男命、息長足姫命

神徳

禊祓の神、学問の神、安産の神



久万高原町下畑野川甲 384 押印日 令和 年 月 日



number
11 八幡神社(大元八幡神社)
はちまんじんじや

国道380号から見える背の高い1本スギが目印。鳥居をくぐると、瓦葺きの神門があり、その先にある瓦葺きの拝殿は風格が漂う。拝殿内には木鼻など、丁寧な木の彫刻が施されている。五穀の神としての信仰があつく、松山藩主が崇敬する祈願社になっていた時期もあった。

主祭神
田心姫命、春田別命

ご神徳
武運長久の神、五穀豊穡の神

久万高原町露峰 1056 押印日 令和 年 月 日

590年(崇峻天皇御代3年)に宗像大社から分霊を勧請。1135(保延元)年に国司河野伊予守親清が、山城国石清水八幡宮(現京都府にある神社)から分霊を迎え、伊予国26社のうちの1社として祀ったと伝わる。



number
9 五社神社(直瀬)
ごしやじんじや

直瀬の田園地帯にある五社神社は、1574(天正2)年、直瀬の城主が、山城国男山八幡宮の分霊を迎えたのがそのはじまりで、1626(寛永3)年に火災で社殿が消失したと伝わる。1801(享和元)年に地元の棟梁が再建した現在の社は、町指定有形文化財。

主祭神
足仲彦命、春田別命、素盞鳴尊

ご神徳
武運長久・戦勝祈願の神、安産の神

久万高原町直瀬甲 3764 押印日 令和 年 月 日



number
10 八幡神社(直瀬)
はちまんじんじや

鎌倉時代の創祀と伝えられ、1192(建久3)年に山城国男山八幡宮より分霊を迎えたと伝わる。現在の社殿は1789(寛政元)年から2年かけてつくられた。地元の棟梁が手がけた社殿は、平安期や鎌倉期の様式を取り入れた古風さを感じられる。

主祭神
帯仲彦命、品陀別命、氣長足比売命

ご神徳
武運長久・戦勝祈願の神、安産の神

久万高原町直瀬甲 5261 押印日 令和 年 月 日



number

13 三訪神社

さんぼうじんじゅ

町立父二峰（ふじみね）小学校の正門を入り、道なりに登ると、職員社宅横にある。社殿は石積み土台にのり、こぢんまりとした瓦葺きの拝殿が古風であり、風情がある。かつては山奥にあった社を、1917（大正6）年、現在の場所にうつし、三訪神社と改めた。

主祭神
大山積神

ご神徳
山の神、狩猟の神



久万高原町露峰乙 708-1 押印日 令和 年 月 日



number

14 十二社神社

じゅうにしゅじんじゅ

立派なしだれ桜で知られる法蓮寺のそばに、ひっそりと佇む。急勾配の天然石の階段を登ると境内にたどり着く。瓦葺きの簡素な拝殿がゆかしい。熊野十二社権現（熊野神社）と称し、古来より霊験が深く、地元民の信仰を集めていたという。

主祭神
天神七代尊、地道八代尊

ご神徳
病氣平癒の神、災難除けの神、
五穀豊穡の神



久万高原町露峰乙 399 押印日 令和 年 月 日



number

12 葛城神社

かつらぎじんじゅ

饒速日命を祀っていた社に、大和葛城神社から一言主命を勧請し、鎮護の神として祀った。1192（建久3）年、国主の河野伊予守通俊公が山城国男山八幡宮の分霊を勧請。1471（文明3）年、京都北野天満宮より菅原道真の分霊を迎えたと伝わる。

主祭神
一言主命、饒速日命

ご神徳
知恵の神、学問の神



久万高原町二名甲 1399 押印日 令和 年 月 日



二名地区の久万中山線からすぐ脇にあり、境内には巨大なスギの御神木がある。伽藍造の本殿は木の意匠が細やかで神々しい。拝殿の天井には十二支で方位を示す図が描かれている。



number
17

御調神社

みちょうじんじや

切り出しの一枚石が急勾配に敷かれ、登った先に立派な神門が待つ。いにしえより、榊の森にある神社で、土地の守護神である。たびたびの兵乱で荒廃したが、弘安年間(1278~87年)、国主河野通有が祈願して社殿を建て、社領を寄進したと伝わる。

主祭神
倉稲魂神

神徳
農業・商業の神、
商売繁盛の神、開運の神



久万高原町父野川乙 458 押印日 令和 年 月 日

父野川沿いにあり、神社名を刻む天然石が特徴的。神門の中には時代物の左大臣と右大臣の随神像がある。拝殿は茅葺き屋根をトタンで覆っており、内部にはいくつもの大きな絵馬が奉納されている。



number
15

河上神社

かわかみじんじや

4坪の愛らしい拝殿が特徴。石積みの階段や祠など歴史を感じさせる。1723(享保8)年に京都祇園より牛頭天王の分霊を迎え、流行病を退ける「悪疫よけ」の神として敬われる。1853(嘉永6)年の水害で現在地に社殿を建立し、その20年後、河上神社と改称した。

主祭神
素戔鳴尊

神徳

病気平癒の神、疫病祓除の神、
邪気祓の神



久万高原町二名甲 2866 押印日 令和 年 月 日



number
16

金刀比羅神社(二名)

ことひらじんじや

二名川をはさみ、河上神社(上記)の向かいにある。石積みの階段、赤屋根の木の鳥居、4坪の拝殿や石積みの上に座する本殿など、風情がある。1717(享保2)年、讃岐国の金比羅大権現の分霊を勧請し、「金比羅大権現」と称した。1873(明治6)年、現在の社名に改称した。

主祭神
金山彦大神

神徳

鉱石・金物の神、金銭の神



久万高原町二名甲 2457 押印日 令和 年 月 日



number

19 龍池神社

りゅうちじんじや

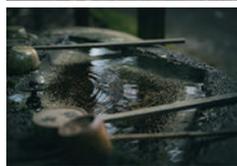
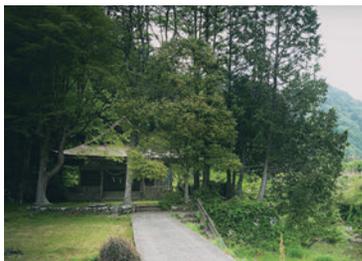
四国八十八ヶ所霊場の岩屋寺入り口横にあり、815(弘仁6)年、弘法大師が岩屋寺を開基する際、峰々谷々の権現を守護神として祀ったのがそのはじまりと伝わる。清流そばに赤屋根の社殿が佇む。参道にある藤の木や大きなサルズベリなどうつくしい花が四季を彩る。

主祭神
高麗神、閻魔神

ご神徳
雨を司る神



久万高原町七鳥 1431 押印日 令和 年 月 日



number

20 八幡神社(有枝)

はちまんじんじや

有枝川に沿って、緑の道を歩くと鳥居が見えてくる。瓦葺きの拝殿は慎ましく、深い森に囲まれ、神聖な空気をまとっている。1071(延久3)年、国司の伊予守源朝臣頼義公が山城石清水八幡宮を勧請し、18社を創建したうちの1社であり、厳島宮と合祀した伝わる。

主祭神
誉田別命、足仲彦命、
氣長足姫命

ご神徳
武運長久・戦勝祈願の神、
安産の神



久万高原町有枝 334 押印日 令和 年 月 日



number

18 河崎神社

かわさきじんじや

768(神護景雲2)年、国司の命で先祖を祀る廟舎を定め、浮穴郡鎮護の神として祀ると伝わる。1066(治暦2)年春、干ばつのとき祈雨祭を執行し、目の前の川から竜巻がおり雨が降り注ぎ、当神社に雨宮をつくり神田を献上したとされる。本殿内の鳳凰の彫刻、木鼻など長州大工の技が光る。

主祭神
天忍穂耳命、藤原會人

ご神徳
五穀豊穡の神



久万高原町東川 1 押印日 令和 年 月 日

面河川の支流沿いにあり、このエリアで最大の社。天然石の手水場や灯籠、木の鳥居が風情を醸す。拝殿内にはユニークな表情の獅子の木鼻が。本殿に、周防大島の棟梁、本田吉蔵直道作と書かれた棟札が残る。



八柱神社

number

22 八柱神社

やはしらじんじや

目の前に清流があり、一帯が自然環境保全指定地区になっている。久万郷の中でも、指折りの格式高い社だけに拝殿、本殿なども立派な構え。1590（天正18）年、部落にあった8つのお宮が合祀され、総河内八社大明神とした。その後、1870（明治3）年に八柱神社と改称したと伝わる。

主祭神
天御中主命

神徳
五穀豊穡の神、雨乞いの神



久万高原町大川 1459

押印日 令和 年 月 日

天然石で囲まれた池では鯉が泳ぎ、清涼感に包まれる。境内にある摂末社のひとつ「堂山鎮守社」にはすぐれた彫刻が施されている。本殿、拝殿とも銅板葺で重厚さを感じられる。



瓦葺きの拝殿は傷みがきているものの、木の細やかな彫刻など見ごたえがある。境内には、本社とは別のちいさな神社である摂末社が2つある。地域のひとたちにきれいに管理されている。

number

21 八社神社(七鳥)

はっしやじんじや

面河川に沿って走る道沿いにあり、地域の崇敬があつ。815（弘仁6）年、弘法大師が岩屋寺の開基に際して守護神とした11社を設けたうちのひとつ。1580（天正8）年、古味八社大明神と称し、大宝寺・岩屋寺の大別当、西光寺の中別当となり、鷹森城主の先祖を祀る廟（びょう）所となった。

主祭神
天忍穗耳命

神徳
五穀豊穡の神



久万高原町七鳥 2956

押印日 令和 年 月 日

八社神社

number

25 熊野神社

くまのじんじゃ

七鳥の山間部にあり、樹齢を重ねたイチヨウの木がそびえる。推古天皇の時代、伊予国司が紀伊国熊野大権現を、伊予国中24社に迎えたうちの一社と伝わる。1910(明治43)年、郷内4社を合併したが、1945(昭和20)年に分祀し、七鳥本組の氏神として祀った。

主祭神
神武天皇

ご神徳
国家安寧の神



久万高原町七鳥 405

押印日 令和 年 月 日



number

23 御三戸神社

みみどじんじゃ

久万川の景勝地、御三戸巖(軍艦岩)で知られる御三戸。このエリアにあるため、本殿の裏に巨大な岩がいくつもある。古来より地元住民の信仰が厚く、本宮、遥拝宮を備えた特殊な神社であった。現在は、遥拝宮に遷座している。

主祭神
国常立尊、大山津見尊

ご神徳
五穀豊穡の神、国土の神



久万高原町上黒岩 1020

押印日 令和 年 月 日



number

26 河内八社神社

かわうちのはっしやじんじゃ

県道12号から脇道に入った直瀬川そばにあり、赤色の灯笼が参道にポツポツと並ぶ。瓦葺きの拝殿が周囲の緑に溶け込む。岩屋寺の別当としてつくった11社のうちのひとつ。1910(明治43)年、七鳥熊野神社に合祀したが、1948(昭和23)年に分祀した。

主祭神
天忍穗耳命

ご神徳
五穀豊穡の神



久万高原町七鳥 870

押印日 令和 年 月 日



number

24 大宮八幡神社(東川)

おおみやのはちまんじんじゃ

国道494号から脇道に入ると、赤屋根の木の鳥居が見えてくる。815(弘仁6)年、弘法大師が岩屋寺の開基に際して別当を11社設けたうちの一社。1910(明治43)年に河崎神社(P.23)に合祀したが、1959(昭和34)年に分祀し、大宮八幡神社を創建した。

主祭神
天忍穗耳命

ご神徳
五穀豊穡の神



久万高原町東川 1862

押印日 令和 年 月 日



八社神社

number

27

八社神社(黒藤川)

はっしやじんじや

面河川の支流が織り成す溪谷美に、赤屋根が溶け込む神秘的な社。伊予浮穴誌によれば、当社のはじまりは、1153(仁平3)年。源頼政がこの村に盾(たて)を築き、伊予と土佐の押さえとした。その際に、神殿を再建し産土神を祀ったと伝わる。

主祭神

天之忍穗耳命

二社神

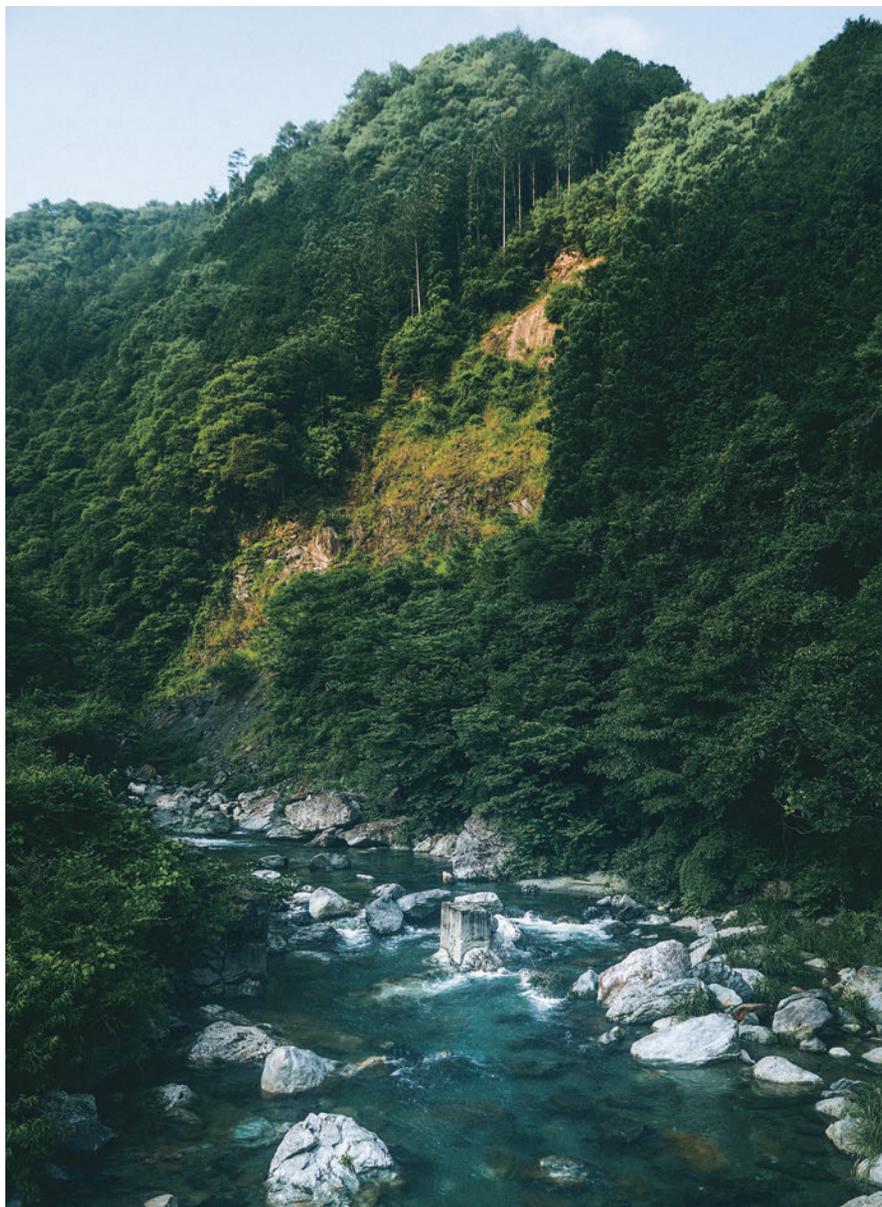
五穀豊穡の神



久万高原町黒藤川 5046

押印日 令和 年 月 日

車を泊めて田園風景の中を10分ほど歩くとたどり着く。溪谷にかかる橋からは自然の造形美を望むことができる。天然石を積んだ上に乗る灯笼や、苔や木々の緑が神聖な空気をつくり上げている。



number

30 松原八社神社

まつばらはっしやじんじや

旧美川スキー場の道中、標高約700メートルの森の中にある。701(大宝元)年、弘法大師が四国八十八ヶ所霊場の四十四番札所「大宝寺」の別当としてつくったと伝わる。1760年代に再建にされた拝殿は、内部に草花などの木彫りが施されている。

主祭神
天忍穗耳命

二神徳
五穀豊穡の神



久万高原町日野浦 6150 押印日 令和 年 月 日



number

28 尾崎神社

おごきじんじや

県道328号から旧道に入ると、石の鳥居と赤屋根の社殿が見えてくる。田んぼの横に参道があり、拝殿の木材にはクリやケヤキが使われている。伊予浮穴誌によれば、1153(仁平3)年、源頼政の心願があってつくられたと伝わり、甕神よけの鎮守神として奉られたという。

主祭神
天照皇大神、建速須佐男命

二神徳
病氣平癒の神、疫癘祓除の神、邪気祓の神



久万高原町中黒岩 884 押印日 令和 年 月 日



number

31 音無神社

おとなしじんじや

沢の音がサラサラと流れる山間部の社は、728(神亀5)年の創立と伝わる。かつて三つの社を一宮に合祀して、三戸大明神としたが、1870(明治3)年に音無神社に改称した。拝殿はシンプルで景観になじみ、内部に飾られた絵馬は風化が味になっている。

主祭神
手力男命

二神徳
力の神



久万高原町沢渡 148 押印日 令和 年 月 日



number

29 宮柱神社

みやばしらじんじや

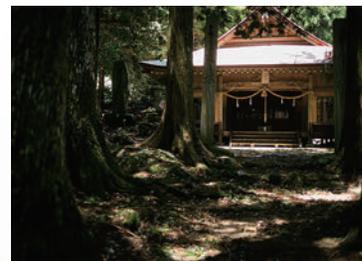
茶畑が広がる桃源郷のような日野浦エリアにあり、天然石が並ぶ参道や石積み灯籠、木々に囲まれた神明造の銅板葺きの本殿など、趣がある。社は1533(天文2)年に創立したと伝えられるが、1919(大正8)年の火災で古文書などが焼失したという。

主祭神
志那津彦命、志那津姫命、稚御産巢日命、大物主命

二神徳
風鎮の神



久万高原町日野浦 1911 押印日 令和 年 月 日



五社八幡神社

number
33

五社八幡神社

ごじゃはちまんじんじゃ

赤色の軒反りの屋根が特徴の拝殿は国道440号沿いにある。五穀養生の神を祀る古社で、産土神として崇められてきた。近くの町営バスの駅名が「郷角(ごうかく)」と「大成(おおなる)」であることから、縁起物とされる切符は、毎年11月に当社で祈願される。

主祭神

応神天皇、仲哀天皇、神功皇后

副祭神

武運長久・戦勝祈願の神
安産の神



久万高原町西谷 12679

押印日 令和 年 月 日

柱だけで支えられているため、後ろに本殿が見える横長の拝殿が特徴的で、平安時代の建造物に似ている構造。拝殿の絵馬には再建年と推察される1859(安政6)年吉日との年号が書かれている。



深緑の木々に囲まれ、石垣の上に社殿が建つ。境内には「百度石」がある。木製の鳥居と拝殿は比較的新しく、シンプルだが、丁寧な木の意匠が施されている。

number

32

赤蔵神社

あかぞうじんじゃ

県道210号沿いにある社は1153(仁平3)年の創祀という。かつては二籠(ふたつの)地区にあったが、黒藤川の氏神としていまの地に再建。怪鳥伝説があり、源頼政の母が当社で源氏の再興を祈り、矢をつくらせて京に送った。御所付近に怪鳥が出没し、その矢で退治。頼政が出世したと伝わる。

主祭神

天忍穂耳命

副祭神

五穀豊穡の神



久万高原町黒藤川 3003-1

押印日 令和 年 月 日



川崎神社

number

35 川崎神社

かわさきじんじや

高野本川に沿いの国道440号から脇道に入ると、神社名を刻む石柱がある。そこから山道を歩くと参道に。1153(仁平3)年、源頼政が心願あつて神の分霊を迎えて創祀したと伝わる。1907(明治40)年、近隣の5神社を合祀。その後、大崎神社を合祀して1947(昭和22)年に川崎神社となる。

主祭神

素盞鳴尊、大市日女命

合祀神

五穀豊穡の神



久万高原町西谷 5511

押印日 令和 年 月 日

天然石を敷き詰めた幅の広い階段は迫力がある。拝殿は簡素ながら雰囲気があり、内部から本殿が見える珍しい構造。流造の銅板葺の本殿は重厚なつくり。境内の灯笼には1893(明治26)年と刻まれている。



拝殿には、樺のモチーフにしたもの、象や獅子の木鼻など、地元の棟梁による細かな木の彫刻が施されている。参道にある一枚板の天然石の階段は普段利用されないため、うつくしい苔をまとう。

number

34 五社神社(西谷)

ごしゃじんじや

名荷谷川に並行して走る県道328号から脇道に入った、森の中にある社。古来、地域の鎮守の神で、氏神として人々から崇められてきたという。1590(天正18)年に総郷知五神社がつくられ、その後、合祀、分社して1947(昭和22)年、五社神社をつくつたと伝わる。

主祭神

志那津彦神、志那戸辺神、和久産霊神、大山祇神

合祀神

風鎮の神



久万高原町西谷 2650

押印日 令和 年 月 日

五社神社

大宮八幡神社

number

37

大宮八幡神社

おおみややはちまんじんじや

国道33号を走る途中の山あいであり、存在感のある楼門が待ちうける。596(推古天皇4)年、国造伊予主命が国家の鎮護と五穀豊穡を祈願するために、二神を祀って中津明神に。その後、紀伊国熊野宮から熊野大神を、豊前国宇佐八幡宮から八幡神を迎え、大宮八幡神社として奉ったという。

主祭神
大山津見命

神徳
五穀豊穡の神



久万高原町中津 5590

押印日 令和 年 月 日

根回り17メートルものトチノキは天然記念物に指定。樹齢は約700年と伝わる。拝殿は地元・中津の大工・亀井米蔵によるものとの記載がある。流造銅板葺の本殿は1920(大正9)年に改築している。



number

36

早虎神社

はやとらじんじや

山の中腹にある絢爛な社でその意匠の質は郷内でも指折り。そのはじめは596(推古天皇4)年とも728(神亀5)年とも伝わる。1855(安政2)年、長州大工の吉門友助、浅治郎が社殿を再建。愛媛で吉門姓を名乗った唯一の社殿といわれ、流れるような彫刻が施されている。

主祭神
素盞鳴尊、大山紙大神、大市日女神、笠野比売神

神徳
五穀豊穡の神



久万高原町柳井川 1720-1

押印日 令和 年 月 日

関ヶ原の戦い以降にできた「算木積」の石垣にも格式の高さを感じる。銅板葺の拝殿は、宮大工による木鼻や欄間の彫刻などの確かな技が光る。樹齢500年以上のスギなど、巨木が囲む総鎮守の神。

早虎神社



number
40 八幡神社(澁草)
はちまんじんじゃ

728(神亀5)年の創祀で、1069(延久元)年に源頼義の命により、八幡宮を分霊し迎えたと伝わる。弘安年間と天明年間に改築し、その後焼失。氏子の悲願で1932(昭和7)年に再建されたものの、第二次世界大戦の戦災でふたたび拝殿が焼失。現在の社殿はその20年後に建てられたという。

主祭神
足仲比古命、誉田別命、
気長足姫命

神徳
武運長久・戦勝折願の神
安産の神



久万高原町澁草 667 押印日 令和 年 月 日

県道341号沿いにあり、拝殿、本殿とも銅板葺で屋根の造りや佇まいから、山の社でありながら格式の高さを感じる。境内にはドクダミが群生しており、5・6月には白くて愛らしい花を咲かせる。



number
38 総高地神社
そうこうちじんじゃ

面河ダムを見下ろす山肌に立つ。杉林が囲む狭い道を入ると木の鳥居が見えてくる。814(弘仁5)年に創建された氏神であり、五穀養生の神を祀っているという。もともといまの場所にあったが、早虎神社に合祀。1945(昭和22)年、分社し、総高地神社になったという。

主祭神
級長津比古神、級長戸辺神、
和久産霊神、稲倉魂神

神徳
風鎮の神、農業の神



久万高原町柳井川 5477 押印日 令和 年 月 日



number
39 河内神社(柳井川)
かおうちじんじゃ

中津川をはさんだむかいには明神山がそびえる。標高のある山の神社でありながら、境内には木々の隙間から明る光が差し込む。701(大宝元)年の創立で、農耕の神として崇められてきたという。簡素な拝殿や、鳥居から続く石段や石積みの灯籠など、風情がある。

主祭神
倭姫命

神徳
五穀豊穡の神



久万高原町柳井川 6780 押印日 令和 年 月 日



八幡神社

number
43 八幡神社(本組)
はちまんじんじゃ

面河川のせせらぎの音が境内に流れる。柱だけが支える瓦葺きの拝殿は、簡素ながら神聖な雰囲気がある。1590(天正18)年、山城国の男山八幡宮から分霊を迎え、八幡宮と称したと伝わる。寛政年間、文久年間に社殿の改修を重ね、1879(明治12)年に八幡神社と改めたという。

主祭神
足仲彦命、誉田別命、
氣長足姫命

神徳
武運長久・戦勝祈願の神、
安産の神



久万高原町本組 843 押印日 令和 年 月 日

拝殿には、草花をモチーフにした木の彫刻が散りばめられており、柔らかな印象がある。住民活動がさかんで、現在も獅子舞保存会が活動し、秋祭りが近くなると、境内で獅子舞の練習が行われている。



number
41 正八幡神社
しょうはちまんじんじゃ

県道12号沿いの旧面河村エリアにある。1376(天授2)年、山城国男山八幡宮から分霊し、創立したと伝わる。こぢんまりした瓦葺きの拝殿が山村の平均的な神社となっている。拝殿内部にある木鼻の象の表情が愛らしく、にらみをきかせた狛犬の表情も特徴的。

主祭神
足仲彦命、誉田別命、
氣長足姫命

神徳
武運長久・戦勝祈願の神、
安産の神



久万高原町若山 53 押印日 令和 年 月 日



number
42 相峰神社
あいみねじんじゃ

県道341号沿いにある、字名の「相の峰」を冠した社。標高のある里山の集落で、深い緑に囲まれてひっそりと佇む。拝殿は山の神社の一般的なつくり。1547(天文16)年に創られ、1807(文化4)年、国司が山城国加茂宮から分霊を迎えたと伝わる。

主祭神
天忍穗耳命

神徳
五穀豊穡の神



久万高原町相の峰 2 押印日 令和 年 月 日



相峰神社

八幡神社

number
45

八幡神社(前組)

はちまんじんじゃ

県道341号と並行して流れる黒妙川沿いにあり、大きな4本柱が支える拝殿は、緑の中で赤屋根が映える。1071(延久3)年、国司の源頼義が山城国から三座を分霊して迎え入れ、御柱森久宮と号した。改称を重ね、1909(明治42)年に八幡神社となったと伝わる。

主祭神

足仲天皇、菅田別天皇、
気長足姫命

神徳

武運長久・戦勝祈願の神、
安産の神



久万高原町前組3000

押印日 令和 年 月 日

本体の鳥居を支える稚児柱が特徴の「両部鳥居」がある。地元の大工が手がけた拝殿内部の、象などの木鼻は、周囲の神社と比べてひと回りサイズが大きい。珍しいかまえをしている狛犬が出迎える。



本殿の両脇には、虎に乗った随神を配置している。社はもともと別の場所にあったが、ダム建設により沈むことになり、その着工がはじまる昭和30年代にいまの場所へ移築。ダムの貯水量が減ると鳥居と社が見える。

number

八社神社(笠方)

はっしやじんじゃ

面河ダムを見渡す道路沿いにある社は、久万郷では珍しい青色の屋根がかかる。713(和銅6)年、国司が山城国の加茂宮から分霊を迎えたのがはじまりという。1863(文久3)年、本殿を長州大工の八代嶋田中屋忠次郎がつくり、八社大明神とした。銅板葺の本殿は彫刻、造りがとも秀でている。

主祭神

天忍穂耳命

神徳

五穀豊穡の神



久万高原町笠方1938-1

押印日 令和 年 月 日





御神体がガヤの木を彫刻していると伝えられることから、この一帯ではガヤの木を一切薪にしなかったという口承がある。天然石の手水場は時代の重なりを感じるつくり。

number



三社神社

さんじゃじんじゃ

透明な緑色の面河川沿いに立つ社は、清涼な空気が境内を包む。804(延暦23)年、巖島神社を分霊し祀ったと伝わる。元禄年間、面河山の横材を川に流したとき、神社前から下流へ流れず、淵に沈んだことから、当社で祈願した伝説がある。1879(明治12)年に三社神社と改称した。

主祭神

湍津姫尊、田心比売尊、
市杵島比売命

ご神徳

外難防御の神



久万高原町中組 1845

押印日 令和 年 月 日



30



28



25



3



1



あ～

27



34



32

31



7



4



36



39

37



37



- 阿吽 -

a.un

うん



46

神社に行くと出会うのが一対の狛犬さん。
古いものから新しいものまで、
その表情もかたちもさまざまです。
じっくりと向き合ってみて、
つくった人の想いや遊び心を感じてみては。



9



8



11



10



45

なやましい腰つき



41



40



18



17



16



12



44



43



24



23



22



20

28_尾崎神社/29_宮柱神社/30_松原八社神社/31_音無神社/32_赤藏神社/33_五社八幡神社/34_五社神社
(西谷)/35_川崎神社/36_早虎神社/37_大宮八幡神社/39_河内神社(柳井川)/40_八幡神社(渡草)/41_正
八幡神社/43_八幡神社(本組)/44_八社神社(笠方)/45_八幡神社(前組)/46_三社神社

1_三島神社/3_河内神社/4_久万伊勢大神宮/7_総河内神社/8_住吉神社/9_五社神社(直瀬)/10_八幡神社(直
瀬)/11_八幡寺神社(大元八幡神社)/12_葛城神社/16_金刀比羅神社(二名)/17_御調神社/18_河崎神社/20_八
幡神社(有枝)/22_八柱神社/23_御三戸神社/24_大宮八幡神社(東川)/25_熊野神社/27_八社神社(黒瀬川)

48 ※番号はP9～46の神社の番号に対応しています。

A lush, moss-covered forest floor with a stream flowing through it. The scene is filled with vibrant green moss and ferns, with sunlight filtering through the trees, creating a dappled light effect. The stream is small and clear, reflecting the surrounding greenery.

INTRODUCTION

ぐるりとこの地の神社をめぐれば、
久万郷を深く知り、きつともっと好きになる。
神社は、地域のこれまでの暮らしと想いのアーカイブだから。
守っていくもの。そして、つないでいくもの。
これからも、ずっと。

